

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成29年1月5日(2017.1.5)

【公開番号】特開2015-183538(P2015-183538A)

【公開日】平成27年10月22日(2015.10.22)

【年通号数】公開・登録公報2015-065

【出願番号】特願2014-59069(P2014-59069)

【国際特許分類】

F 0 2 D 11/10 (2006.01)

F 0 2 B 61/02 (2006.01)

F 0 2 B 67/00 (2006.01)

F 0 2 B 67/06 (2006.01)

【F I】

F 0 2 D 11/10 A

F 0 2 B 61/02 C

F 0 2 B 67/00 E

F 0 2 B 67/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月18日(2016.11.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シリンダ部(36, 37, 38)が車体前方に向かって延出するように車体フレーム(11)に取り付けられたエンジン(2)と、

前記シリンダ部(36, 37, 38)の上部後方側から車体前方側に延出して、前端部が下方に湾曲して前記シリンダ部(36, 37, 38)の吸気口に接続される吸気通路(21, 22, 23)と、

前記吸気通路(21, 22, 23)に設けられ、前記吸気通路(21, 22, 23)を流通する吸気量を調整するスロットル弁(24)と、

前記スロットル弁(24)を駆動するスロットルモータ(26)と、

前記エンジン(2)内のタイミングチェーン(32)の張力を調整する部品であり、その一部が前記シリンダ部(36, 37, 38)の上面から上方に突出するチェーンテンシヨナ(33)と、を備え、

前記スロットル弁(24)が、車両の平面視において、前記シリンダ部(36, 37, 38)の上面と重なる位置に配置される鞍乗型車両であって、

前記スロットルモータ(26)は、車両の側面視において、前記エンジン(2)の上面と前記吸気通路(21, 22, 23)との間の位置で、前記スロットルモータ(26)の下端を通る水平線(H1)が前記チェーンテンシヨナ(33)と重なる位置に配置され、かつ前記スロットルモータ(26)の軸心部(26a)が前記チェーンテンシヨナ(33)と前後方向にずれるように、かつ車両前後方向でクランクケース(35)の上面から上方に隆起する前壁(35a)と前記チェーンテンシヨナ(33)との間に、配置されていることを特徴とする鞍乗型車両。

【請求項 2】

前記エンジン(2)は、クランクケース(35)の下方側の前縁部が前記車体フレーム

( 1 1 ) に上下方向に揺動可能に支持されていることを特徴とする請求項 1 に記載の鞍乗型車両。

【請求項 3】

前記スロットルモータ ( 2 6 ) は、前記スロットル弁 ( 2 4 ) に減速機構 ( 2 7 ) を介して動力伝達可能に接続され、

前記減速機構 ( 2 7 ) は、車両の平面視において、前記吸気通路 ( 2 1 , 2 2 , 2 3 ) の軸心 ( 2 2 C ) を挟んで前記チェーンテンショナ ( 3 3 ) の最大突出部 ( 3 3 a ) と反対側に配置されていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の鞍乗型車両。

【請求項 4】

前記スロットル弁 ( 2 4 ) は、前記シリンダ部 ( 3 6 , 3 7 , 3 8 ) の上面の上方に配置され、

前記スロットルモータ ( 2 6 ) の軸心部 ( 2 6 a ) は、前記エンジン ( 2 ) のクランクケース ( 3 5 ) の上方に配置されていることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の鞍乗型車両。

【請求項 5】

前記エンジン ( 2 ) のクランクケース ( 3 5 ) には、当該クランクケース ( 3 5 ) に取り付けられるラジエータ ( 5 0 ) の排風口 ( 4 3 a ) が上方に突出して設けられ、

前記スロットルモータ ( 2 6 ) は、前記排風口 ( 4 3 a ) の車体前方側に隣接する位置に配置されていることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の鞍乗型車両。

【請求項 6】

前記スロットルモータ ( 2 6 ) の少なくとも一部は、平面視で前記チェーンテンショナ ( 3 3 ) の最大突出部 ( 3 3 a ) を除いた部分と重なる位置に配置されていることを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の鞍乗型車両。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

この発明の一形態の鞍乗型車両は、上記課題を解決するために、シリンダ部 ( 3 6 , 3 7 , 3 8 ) が車体前方に向かって延出するように車体フレーム ( 1 1 ) に取り付けられたエンジン ( 2 ) と、前記シリンダ部 ( 3 6 , 3 7 , 3 8 ) の上部後方側から車体前方側に延出して、前端部が下方に湾曲して前記シリンダ部 ( 3 6 , 3 7 , 3 8 ) の吸気口に接続される吸気通路 ( 2 1 , 2 2 , 2 3 ) と、前記吸気通路 ( 2 1 , 2 2 , 2 3 ) に設けられ、前記吸気通路 ( 2 1 , 2 2 , 2 3 ) を流通する吸気量を調整するスロットル弁 ( 2 4 ) と、前記スロットル弁 ( 2 4 ) を駆動するスロットルモータ ( 2 6 ) と、前記エンジン ( 2 ) 内のタイミングチェーン ( 3 2 ) の張力を調整する部品であり、その一部が前記シリンダ部 ( 3 6 , 3 7 , 3 8 ) の上面から上方に突出するチェーンテンショナ ( 3 3 ) と、を備え、前記スロットル弁 ( 2 4 ) が、車両の平面視において、前記シリンダ部 ( 3 6 , 3 7 , 3 8 ) の上面と重なる位置に配置される鞍乗型車両であって、前記スロットルモータ ( 2 6 ) は、車両の側面視において、前記エンジン ( 2 ) の上面と前記吸気通路 ( 2 1 , 2 2 , 2 3 ) との間の位置で、前記スロットルモータ ( 2 6 ) の下端を通る水平線 ( H 1 ) が前記チェーンテンショナ ( 3 3 ) と重なる位置に配置され、かつ前記スロットルモータ ( 2 6 ) の軸心部 ( 2 6 a ) が前記チェーンテンショナ ( 3 3 ) と前後方向にずれるように、かつ車両前後方向でクランクケース ( 3 5 ) の上面から上方に隆起する前壁 ( 3 5 a ) と前記チェーンテンショナ ( 3 3 ) との間に、配置されるようにした。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】